

1 その1・堀割川の歴史：明治期

資料・絵はがき：横浜開港資料館に残されている、絵はがきに「堀割川」の当時の様子を垣間見ることができます。



堀割川開削の難所「中村切り通し」の当時の様子。

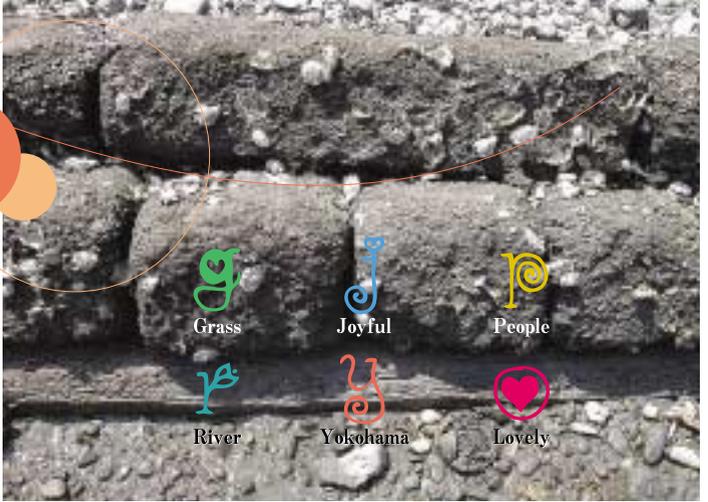


初期の根岸の掘削と開削後の中村の切り通し(右奥)。



当時「瀧之橋」と呼ばれていた、現・八幡橋近く。

暮らしの中に息づいていた堀割川のアルバムを開いてみませんか……。



堀割川の開削と滝頭波止場の建設

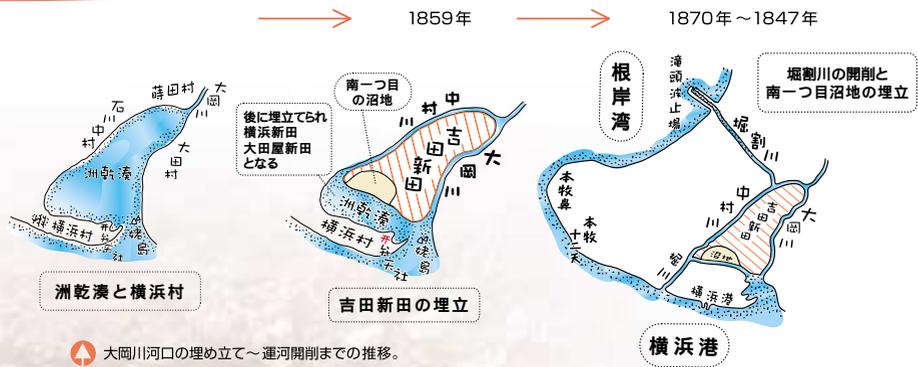
開港場周辺の市街化が進む中、明治3年(1870)4月、神奈川県令井関盛良は「吉田新田地内の沼地およそ7万坪の埋め立てをする。埋め立て用の土砂は中村川から根岸まで堀割を開きその土を当てるべし。この事業を自力で引き受けるものにはこれを許可しその所有を認める」という布達を出しました。加えて、滝頭波止場の建設と中村川の拡幅を求めました。

この布達に接した吉田家は、「吉田方会所」という組合を設立し、工事を請願し許可を得ました。しかし、この事業はなんといっても大事業でした。高さ約37mの山を切り下げ、中村川から滝頭まで幅27m、延長2.6kmの堀割を開削し、河口に長さ約540mの滝頭波止場を建設する。そして、全長約2.4kmの中村川を幅27mに掘り広げる。これらの掘削土を利用して約23haの沼地を埋め立てるといふのです。工事は明治3年(1870)10月に着工し明治7年(1874)8月に完成しましたが、出資者は莫大な借金を抱え、土地も財産も失ってしまいました。

大岡川河口の埋め立てと新田開発

大岡川と中村川に挟まれた釣鐘状の区域は、かつては洲乾湊(しゅうかんみなと)と呼ばれる広い入江でした。江戸日本橋の商人吉田勘兵衛が万治2年(1659)に吉田新田を開発し、安政6年(1859)の横浜開港の頃には入江全体が陸地化しましたが、吉田新田の「南一つ目」には広大な沼地が残っていました。

堀割川を開削したときにでた土がこの沼地の埋立に使われました。



大岡川河口の埋め立て～運河開削までの推移。

舟運路として活躍

明治から昭和にかけて堀割川は舟運路として重要な役割を果たし、主に房総や三浦半島からの和船が頻繁に利用しました。八幡橋のたもとの「大竹屋」では、明治の中頃から岸壁に付着した牡蠣を生で食べさせる店として繁盛したということです。堀割川沿いには船宿やビールの瓶工場、耐火煉瓦工場、造船所などが建ち、にぎわいをみせました。磯子橋上流の国道16号線が盛り上がっているところに矢倉橋という橋がありますが、それはヘルムドックという造船所でつくられた船を通す橋で、今もその頃の面影をとどめています。

八幡橋下流には明治期のものと考えられる石積が残っています(干潮時に姿を現します)。



堀割川は絵はがきにもなり活気と潤いでも満ちていました。



奥に見えるのが復興前の「天神橋」。当時のにぎわいと桜が美しい風景。



今も国道16号線に残っているヘルムドッグの水路に架る「矢倉橋」が対岸に見られる。

僕と

もっと、ながよくしてね。

この町が、もっている
時間の記憶や、色々な人たちの
いとなみも、よく知っている堀割川。
この空間にもっと素敵を
プラスしていくまちづくり、
「水と緑と歴史の軸・堀割川」と
地域のこれからの
考えましょう。

堀割川 魅力マップ

2

建設された当時の
滝頭波止場の図面



▲「磯子史話」より。

凡例

- 張出デッキ(バス停)
- 神社仏閣
- 土木遺構：石階段／荷揚場
- 土木遺構：空石積／親柱／ドック跡／下水
- ビューポイント

●運河の橋には橋名が表示されています。

▼八幡橋

▼磯子橋

▼天神橋



▲八幡橋下流。



▲磯子橋下流。



▼明治初期のものと思われる石積み。

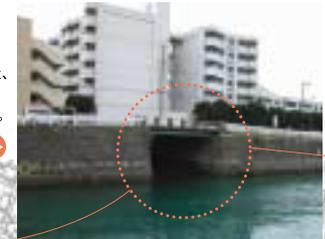


▼八幡橋下流、石積み階段(右岸)。

のびのびとした
空間の広がり
なんとも魅力…

造船所もあつた、
土地の記憶
ヘルムドック跡。

密蔵院



磯体感

●干潮時に姿を現す砂浜。



▲八幡神社のレトロなトイレ。



▲石積み階段(八幡橋左岸)。



▲橋詰を守る八幡神社の鎮守の森。

磯の香りと
開放感がいっぱい…



▲運河に浮かぶ水鳥。



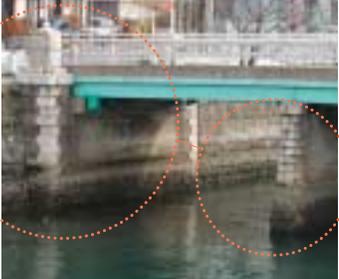
風情のまち 石積の護岸



▲天神橋下流。

▲中村橋下流。

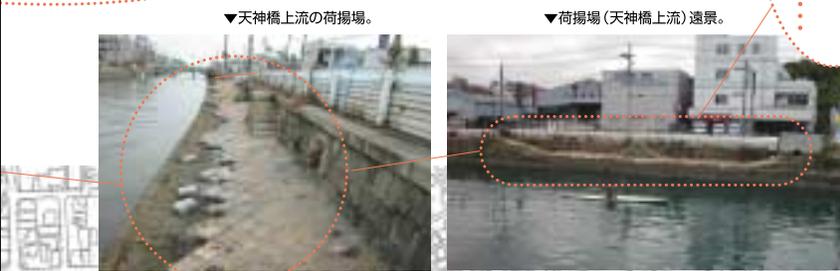
数々残る歴史的な
構造物には土地の
記憶が詰まっています……



▲天神橋の親柱と橋脚。



▲石積と排水口。



▼天神橋上流の荷揚場。

▼荷揚場(天神橋上流)遠景。

ほぼ完全な形で残っている荷揚場 | 下流に向かって視界が広がる



●地元っ子の声
堀割川が見えると
ほっとする…/
磯子に帰ってきた…

海運で栄えた横浜の象徴のひとつ
「運河のネットワーク」。ここはそのうちの
中村川とその分派点です。また堀割川は
「大岡川水系」に含まれています。

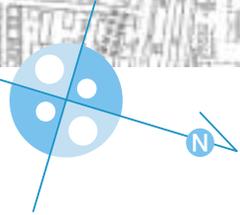
分派点

町並みを買いてつく
石積みの護岸は磯子の
シンボルです……



桜に加え、柳も土地にゆかりの植栽です。

【横浜市地形図複製承認番号
平17都第11172号】



上流での中村川と分派。

